

事務事業名	教職員被服等貸与事業											
事業開始年度	—				担当部署	学校教育部 教職員課						
根拠法令												
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)											
	<input type="checkbox"/> その他()											
目的 (何のために)	枚方市立学校園に勤務する教職員の福利厚生の一環として、教職員に被服等の貸与を行うことを目的とする。											
対象 (誰・何を対象に)	教職員											
事業内容	学校園現場で必要とする被服等(白衣、トレーニングパンツ、エプロン等)を貸与している。											
事業の必要性	教職員の福利厚生事業として必要である。											
コスト												
		H20年度決算				H21年度決算				H22年度当初予算		
		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費		従事職員数	概算人件費			
正職員		0.0 人	418 千円		0.0 人	413 千円		0.0 人	402 千円			
再任用職員		人	千円		人	千円		人	千円			
非常勤職員等		人	千円		人	千円		人	千円			
人件費計(A)			418 千円			413 千円			402 千円			
直接経費(B)			691 千円			672 千円			2,000 千円			
総事業費(A+B)			1,109 千円			1,085 千円			2,402 千円			
財源内訳												
		H20年度決算				H21年度決算				H22年度当初予算		
国庫支出金			千円			千円			千円			
府支出金			千円			千円			千円			
受益者負担 (使用料等)			千円			千円			千円			
その他			千円			千円			千円			
一般財源			1,109 千円			1,085 千円			2,402 千円			
平成21年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容									金 額		
	教職員被服貸与経費(消耗品費 672)									672 千円		
										千円		
									千円			

事務事業名	教職員被服等貸与事業				
事業開始年度	—	担当部署	学校教育部 教職員課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H20年度	H21年度	H22年度(見込み)
	① 被服貸与者数	人	258	215	700
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 総事業費/被服貸与者数	円	4,298	5,047	3,431
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	年度毎に貸与する教職員数の把握に努め、学校現場で必要とする被服等を貸与する。				
事業の自己評価	教職員の被服等貸与は、教職員の福利厚生事業として、また、普段の服装では指導できない業務上必要なものと考えている。				
今後の事業の 方向性	貸与期間は適正であるか、また、費用の節減と実施効果の両面から今後検証が必要と考えている。				
比較参考値 (他自治体での 類似事業の例な ど)	大阪府内(大阪市、堺市を除く)では、枚方市を含め9市が被服等貸与を行っている。				
特記事項	平成11年度貸与者から、貸与期間を3年から5年に見直しを行った。				

1.貸与品目（いずれか1品目を選択）

幼稚園教員：トレーニングパンツ、エプロン、運動靴

小・中学校教員：トレーニングパンツ、エプロン、運動靴、エンカン服、白衣（2枚）

小・中学校主事：トレーニングパンツ、エプロン、運動靴、女子事務服

小学校技師：白衣（2枚）

2.平成21年度決算概要

区 分	数量	単価(円)	計 (円)
トレーニングパンツ	45	3,720	167,400
エプロン	10	1,680	16,800
エンカン服（ファスナー式）	22	2,780	61,160
エンカン服（ボタン式）	6	3,580	21,480
白衣（2枚）	160	1,848	295,680
女子事務服	—	—	—
運動靴	52	2,100	109,200
合計	(215人)	—	671,720

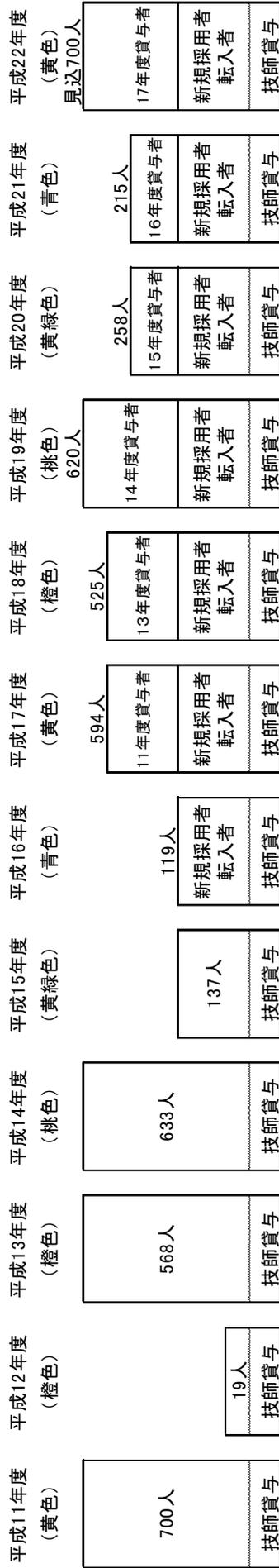
3.大阪府内各市の状況

市名	貸与品目	貸与年数等	金額
枚方市	トレーニングパンツ、エプロン、運動靴、エンカン服、白衣(2枚)、女子事務服	5年	3,000円前後
A市	トレーニングウェア等	3年	7,000円前後
B市	ジャージ、事務服、白衣、運動靴	3年	4,500円前後
C市	体操服、ウインドブレーカー、事務服、白衣、作業服、エプロン	5年	7,500円前後
D市	白衣	5年	不明
E市	夏服	3年	2,900円前後
	冬服	6年	3,500円前後
F市	(夏) 半袖スポーツシャツ	新転入者	不明
	(冬) トレーニングウェア又は運動靴		
G市	夏服	新転入者	3,000円前後
	冬服		6,000円前後
H市	トレーニングウェア (21年度限り)	3年	2,800円前後

4.被服貸与の取扱い

被服貸与の取扱い

貸与期間を3年から5年に見直す



※貸与年度の下の()内の色は、被服貸与台帳の色とする。

- 平成11年度以降、貸与期間を3年から5年に見直す。
ただし、技師(給食関係の栄養士)については、現行のまま貸与期間1年とする。
- 平成12年度については、貸与を見送る。ただし、技師のみ貸与する。
- 平成22年度の新採及び転入者の被服貸与台帳には、「黄色」を標示する。

	21年度貸与者数	22年度見込者数
1 前回貸与者 (21年度は16年度)	63	470
2 新規採用者	114	150
3 技師	10	25
4 他市転入	14	15
5 市教委から転入	8	10
6 貸与もれ	6	30
計	215	700

* 前回貸与者数は平成17年度貸与者594人から退職者見込数を除いた数
退職者数…毎年120人程度